

## 謹賀新年



### 令和6年年頭ご挨拶

年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当森林組合の業務運営に特段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、日本経済は、社会、経済活動に大きな制約を加えてきました「新型コロナウイルス感染症」も、昨年5月に2類相当から5類になり、完全に収束はしていないものの、これまでの日常をやっと取り戻しつつあります。

しかし、世界的な物価の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気の減速退懸念など、依然厳しい状況にあります。

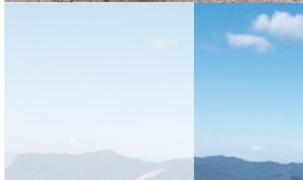
森林・林業界においては、世界的にSDGsやカーボンニュートラルの実現が求められる中、当森林組合としても、地域の森林管理の中心的な担い手として、地域森林の適切な利用・保全と林業経営のさらなる発展に向けた取組を進めてまいります。

また、森林環境譲与税については、国全体で令和元年度に200億円でスタートしましたが、令和6年度から600億円になります。当森林組合では亀山市、鈴鹿市から委託を受け、意向調査、境界明確化、森林整備を進めており、森林環境譲与税を地域林業に有効に活用するためにも、両市と連携しながら森林所有者の森林整備が進むよう取り組みを進めています。

今後も、組合員の皆さまの森林の整備・保全に努めるとともに、地域の森林・林業の発展に寄与できるよう、役職員一丸となって精進してまいる所存ですので、一層のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

代表理事組合長 尾崎 重徳  
役職員一同



# SUZUKA FORESTRY COOPERATIVE

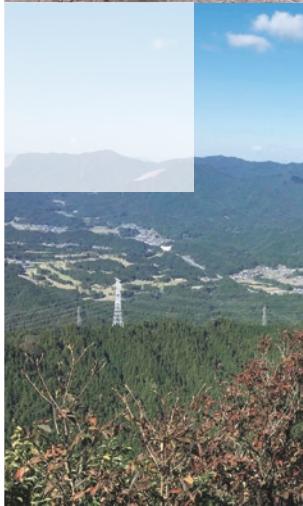
三重県鈴鹿市、亀山市にまたがる森林組合です。



JForest  
鈴鹿森林組合

# HPを リニューアル しました

詳しくは  
こちらから



ダウンロードは  
こちらから



## 各種申請書をダウンロードできます

加入される  
とき

住所変更が  
あったとき

名義変更が  
あったとき

脱退する  
とき



※出資証券を紛失されている場合は  
念書も合わせて提出してください。

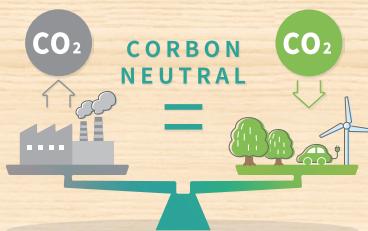
# カーボンニュートラルに貢献する

## 森林と木材利用



### カーボンニュートラルとは

「カーボンニュートラル」とは、二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」と、森林などによる「吸収量」が同じになることです。



### 森林と木材利用のカーボンニュートラルへの貢献について

森林は、太陽の光エネルギーを利用して、大気中の二酸化炭素を吸収し、幹や枝などに大量の炭素として蓄えることができます。《炭素貯蔵効果》また、森林から生産される木材を建築物や家具等に利用することで、木材中の炭素を長期間にわたって貯蔵することができます。《炭素貯蔵効果》木材は、鉄等の資材に比べて、製造や加工に要するエネルギーが少ないので、二酸化炭素の排出量を抑える

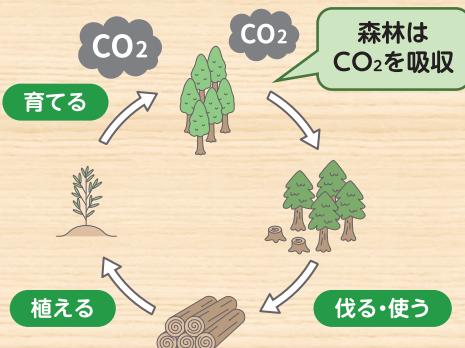
ことができます。《省エネ効果》さらに、木材を燃料としてエネルギー利用した場合は、化石燃料の使用による二酸化炭素の増加を抑えることができます。《化石燃料代替効果》このような効果を発揮させるには、間伐の着実な実施に加えて、「伐って、使って、植える」という資源の循環利用を進めるため、人工林の再造林を図るとともに、木材利用を拡大することが大切です。

### 循環型林業の取り組みへ

伐る  
使う

▶ 植える

▶ 育てる



# 森林整備・草刈・特殊伐採など 鈴鹿森林組合にお任せください。

鈴鹿森林組合は豊富な経験と実績をもとに、  
個人のお客様から公共・法人のご依頼までたくさんのご支持をいただいております。

このようなお悩みを鈴鹿森林組合が解決します!

お持ちの山を  
間伐・枝打ちなどの  
手入れがしたい

お持ちの土地や  
庭、田畠の草に  
困っている

木が大きくなって  
隣の家に  
迷惑をかけそう

木が大きくなって  
自分で切るのは  
難しい

ご相談・お見積りはもちろん**無料**です。

ご連絡いただければ、現地にお伺いさせていただき、見積りをさせていただきます。

詳しくは鈴鹿森林組合までお問い合わせください

[TEL] 0595-98-0010 FAX 0595-98-0019  
[E-mail] suzushin@zc.ztv.ne.jp





# 鈴鹿森林組合の SDGs宣言!

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます(外務省サイトより)

私たち、鈴鹿森林組合では、以下のような事業取組を通じて、SDGsの達成を目指しています

## ① 森林整備を通じた自然資源の保全

地域の森林整備を通じて、国土保全、水源涵養、土砂災害防止、温室効果ガス吸収、レクリエーション機能など、森林が持つ公益的機能を発揮し、住環境の安全および豊かな暮らしを支えます。



## ② 持続可能な林業とまちづくり

「伐って、使って、植える」という緑の循環を維持し、山の豊かさを保ちます。適切に整備・管理された健全な森林があることで、雨がゆっくりと海まで流れ、土砂災害の発生抑止や大規模化を防止します。



森林整備事業の一つである、間伐作業後の様子です。森林は、降った雨を蓄えて、ゆっくりと川に流したり(水源のかん養)温室効果ガスの二酸化炭素を吸収(地球温暖化防止)するなど、森林が果たす役割は大きく、私たちが森林から受ける恩恵は計り知れません。そんな森林を守り、豊かに成長させるために欠かせないのが「間伐」です。「間伐」を行うことで、まっすぐな木を育てるとともに、森林の中に光を取り入れ、残された木が力強く成長し、土を強くつかむことで、土砂災害防止の機能が強化されます。

## ③ 森林教育・木育

小学校・中学校・高校(保育園や幼稚園、NPO団体など)で、森林・林業に関する出前授業を行っています。世界と日本の森林・林業の状況を伝えることで、「木を伐ること、木を使うこと」の大切さを子供たちに知ってもらいます。森林や木製品に親しみを持ってもらい、森林・林業の発展を応援してくれる人を増やす活動です。



以上の事業および取組について、お問い合わせや事業連携等のご提案などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

# 出前林業教室を実施しました

令和5年11月21日(火)、桑名市立多度青葉小学校5年生、6年生28人を対象に出前林業教室を実施しました。森林の役割や身近な森林の話、山との関わりなど森林組合職員がパソコンを使って出前授業をしました。森林は私たちの生活と密接に関係していて、「森林を手入れすることは災害を防ぐことにつながる」という話をすると、真剣に聞き入っていました。また、伐期に達し、利用可能な人工林が多い日本では、適切な伐採・更新により光合成を活発にすることで、より多くの二酸化炭素を吸収させることができること、木材は、木を植えて育てることでずっと使える再生可能資源であることなどを説明しました。



間伐材のカード立て作りでは  
初めてのこぎりを使う子もいて、  
戸惑いながらも切る作業を  
楽しんでくれました。



丸太の年輪から樹齢を当てる  
クイズをしました。  
一年毎に輪が順に増えていくので  
実際に数を数えてもらいました。

触れて、木のぬくもりを感じていただくことで、森林の魅力を伝えることが出来ました。  
未来を担う若者達がこういう事業を通じ少しでも森林に興味を持ってくれれば嬉しいし、  
森林組合としてこういった活動は、今後も大事にしていきたいと考えています。



## 鈴鹿森林組合

〒519-1129 三重県亀山市加太板屋 4622-1  
TEL 0595-98-0010 FAX 0595-98-0019  
[suzushin@zc.ztv.ne.jp](mailto:suzushin@zc.ztv.ne.jp)